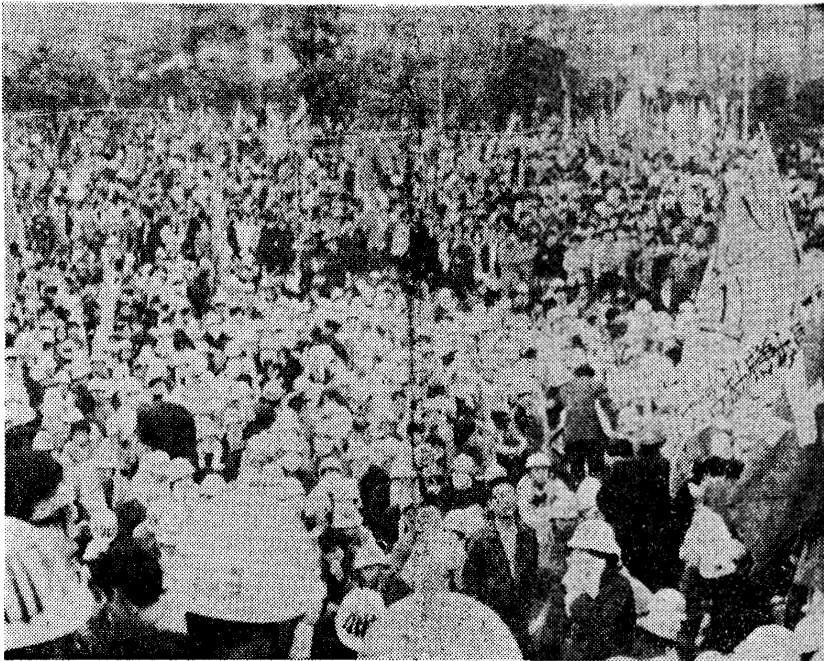


# 予想上回る五万人結集

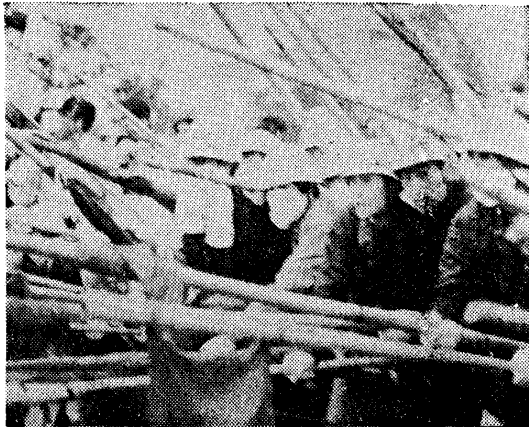
## 着実に“勢力”を伸張

### 4・28 散発的に機動隊と衝突



七二軍油繰復帰を決めた、昨年の日米共同声明後、初めての「四・二八油繰デモ」は、全国各地四五都府県四九ヶ所で、集会が開かれ、約二〇万人の参加者、市民、学生が参加した。「ゲバぬき、大衆動員」をうたげて、明治公園に結集した新左翼の参加者、学生は予定を上回る五万人（警視庁調べ）一

万五〇〇〇人を数えた。昨年の10・21以来、「冬の季節」といわれた学生運動にも、「春」が胎動し始めたことは事実である。集会后、学生たちはデモ行進で小せり合いを起したが、大規模な機動隊との衝突にはいたらなかった。（カット上は明治公園、下は革マル派に向けた竹サオの）



六日行政府員会へ平連 など新左翼陣の主催する「油繰闘争勝利」安原粉砕・28大統一集会は、神宮外苑の明治公園で開かれた。全国から上京した参加者、学生らは、屋敷から同公園に集結しはじめた。新入生も巻き込んだ全共闘、革マル勢力を伸張させた反映青年会など、公園を所せまじとデモ行進を行なった。午後三時半

すぎ、集会開始直前に演壇付近で中核派と反復闘争内ゲバを領じたがまもなくおさまった。また、集会参加を申し入れた革マル派は清水谷公園から、同公園に向かったが、全共闘、反映青年会に拒否され、公園入口で竹サオの「歓迎」を受け、別に集会もった。午後七時前、集会終了後、全共闘をトップに、外苑通り、青山、日比谷公園に向けてデモ行進

に移動した。アモ途中、赤坂見附付近で、反映青年会、反復闘争、ML派学生など約四〇〇人がジクザクデモ、首相官邸を目標し、機動隊のタテと激しく衝突し、投石もあったが十五分後にはまれ、規制を受けた。同じころ、港区の地下鉄日比谷線広尾駅に、青ヘル学生約三千人が現われ、改札口からホームをぬけ、停車していた電車の運転席のガラスをたたき割った。アモ終りの日比谷公園に到着したML派学生約二〇〇人は、国会に向おうとしたため、これを阻止する機動隊と同公園入口で小せり合いを起した。学生は近くにあってゴミ箱に火をつけたが、三人が公務執行妨害罪などで逮捕された。

一方、代々木公園では全国統一行動中央集会が午後六時から開かれた。共闘党を十二団体、主催者約九万人（警視庁調べ）四万

五、〇〇〇人が参加。集会は日米共同政府に対する抗議文を採択、中央集会宣言を行ない午後七時すぎから新宿、恵比寿の二コースに分かれてデモ行進した

**四大学を先制の捜索**  
「四・二八油繰デモ」を前にした二十七日早朝、早稲田大学、中央大学、法政大学、東洋大学は警視庁公安部の捜索を受けた。捜索容疑は、早大は革マルと社学同の内ゲバ、法政大は機動隊への投石、東洋大は全共闘系と民青系との衝突、中大代々木寮はML派とランドの内ゲバ事件一である。が、四・二八を前にした治安当局の先制攻撃である。